

上賀茂試験地の見学
芦生研究林へ移動・夕食
森と人との関わりについて猟師などの外部講師

2日目 芦生研究林の自然と調査
午前 樹木種の識別実習、原生の森林の観察
午後 調査体験
班ごとのデータ解析、まとめ、ディスカッション
各班の発表、ディスカッション
夕食

3日目
かやぶきの里、木材市場などの見学
北白川試験地の見学
解散

[履修要件]

前期開講の、森里海連環学系科目 森里海連環学IおよびII を受講しておくことが望ましい。

全日程に参加できること。

[成績評価の方法・観点]

実習中の発言、調査結果の発表とレポート作成。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

森林立地学会編『森のバランス』(東海大学出版会)

石原正恵・赤石大輔・徳地直子 編『「大学の森」が見た森と里の再生学 京都芦生・美山での挑戦』(京都大学学術出版会)

中静透・菊沢喜八郎 編『森林の変化と人類』(共立出版)

高槻成紀『シカ問題を考える』(山と溪谷社)

京都伝統文化の森推進協議会『京都の森と文化』(ナカニシヤ出版)

(関連URL)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/ashiu/>(芦生研究林)

[授業外学修(予習・復習)等]

事前に芦生研究林・上賀茂試験地・北白川試験地についてフィールドセンターのHPを確認すること。

実習前に課題を出し、実習時に提出してもらう。

[その他(オフィスアワー等)]

学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)に必ず加入しておくこと。

実習は芦生研究林および上賀茂試験地・北白川試験地で行います。

実習中の宿泊費・食費については実費(合計5000円程度)を徴収します。

初日の上賀茂試験地までの旅費は自己負担。

ILASセミナー：京都の文化を支える森林・地域の智恵と生態学的知見(3)

開催時期により、前期の成績発表の時期に間に合わない可能性があります。

【主要授業科目（学部・学科名）】